

2018 年度関西大学入学式を挙る

新入生に贈る学長式辞 『**本物の大学生になるために、本や新聞を読もう！**』

【日時】4月1日（日）10：00～、14：00～ 【場所】千里山キャンパス中央体育館

～新入生に贈る2つの特別企画～

- ① 学長×2 大有名書店による読書啓発企画「**新入生に贈る100冊**」～本と向き合う決心を。
- ② 今春から下宿を始めるあなたへ。「**新入生歓迎の集い**」～ようこそ、大阪へ。

関西大学では、2018 年度学部入学式ならびに大学院入学式、留学生別科入学式を下記のとおり挙行します。大学には13 学部約 6,700 名が、大学院には13 研究科・3 専門職大学院約 900 名が、そして留学生別科には46 名（全4 カ国・地域）が入学します。

本件の
ポイント

- ・総勢7,600 名の新入生を迎え、関大メンバーの結束をより強固に！
- ・「学長 × 紀伊國屋書店 × 丸善雄松堂」による読書啓発企画「**新入生に贈る100冊**」を実施
- ・地方出身でこの春から下宿を始める新入生を対象とした、「**新入生歓迎の集い**」を開催

新入生に贈る式辞で芝井敬司学長は、活字離れの世代に、「本物の大学生になるために、本と向き合う決心を固めよ」と読書と呼びかけ、人生を大切に生きていくために欠かせない読書の重要性を語りかけます。

また、今年には新入生に贈る2つの特別企画を実施します。1つ目は、**芝井学長と大手書店「紀伊國屋書店」ならびに「丸善雄松堂」がコラボ**して、新入生に読んでほしいお薦め図書を紹介する「**新入生に贈る100冊**」企画。大学と大手書店による、こうした若い世代に向けた本格的な読書啓発活動は、**全国的にも初の取組み**です。

2つ目は、新生活のスタートおよび学生同士の交流をサポートする「**新入生歓迎の集い**」企画。**今春から下宿を始める新入生を対象**に、同じ境遇の仲間同士で悩みや不安を共有・解消できる交流イベントを4月4日（水）17：30 から千里山キャンパスにて開催します。約800 名が参加予定で、大阪の食文化を堪能する立食パーティーほか、関大教職員・学生らによる特別バンド演奏などを実施します。

記

学部入学式	日 時	4月1日（日） 〔午前の部〕10：00～ 〔午後の部〕14：00～
	場 所 対 象	千里山キャンパス 中央体育館（入学生）および東体育館（父母） 〔午前の部〕法・商・社会・政策創造・総合情報学部 入学生 約3,200名、父母 約3,300名 〔午後の部〕文・経済・外国語・人間健康・社会安全・システム理工・環境都市工・化学生命工学部 入学生 約3,500名、父母 約3,000名
大学院入学式	日 時	4月2日（月）10：00～
	場 所 対 象 出席者数	千里山キャンパス 中央体育館 博士課程前期課程・後期課程・専門職学位課程の全研究科 入学生 約900名、父母 約100名
留学生別科入学式	日 時	4月3日（火）13：00～
	場 所 対 象 出席者数	南千里国際プラザ 国際プラザホール 日本語・日本文化教育プログラム進学コース 入学生 46名（全4ヶ国・地域）

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 学長×紀伊國屋書店×丸善雄松堂による読書啓発企画「新入生に贈る 100 冊」

【概要】

- ・大手書店「紀伊國屋書店」「丸善雄松堂」と学長がコラボして、新入生へのお薦め本を紹介する企画。
- ・大学と書店が協同して、若い世代に向けた本格的な読書啓発に取り組むのは、全国的にも初の試み。
- ・新入生に馴染んでもらえるよう、教職員が本の紹介を書き、冊子にまとめた。

【100 冊の内訳】

芝井敬司学長推薦本：20 冊、
紀伊國屋書店推薦本：40 冊、丸善雄松堂推薦本：40 冊

【代表例】 ※配布冊子の全容は次ページ以降にて公開▼



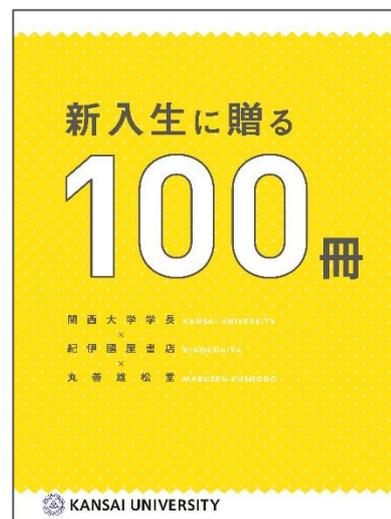
『日本三文オペラ』
/開高 健（新潮社）

敗戦直後の大阪で兵器や鉄骨を盗みまくった「住民兼泥棒」たちの熱気、猥雑、悲哀。



『なぜ日本の大学生は、
世界でいちばん勉強しないのか？』
/辻田 一朗（東洋経済新聞社）

耳の痛い情報ほど役に立つことの典型。その解決策を知りたくないですか。



関西大学「新入生歓迎の集い 2018」

【概要】

- ・今春から下宿を始める新入生を対象とした、同じ境遇の仲間同士で悩みや不安を共有する交流イベント。
- ・本学学生が制作したフリーペーパー「JR 大阪環状線ガイド」、近隣の病院案内などを配布。
- ・立食パーティー形式で、たこ焼きやお好み焼き、あめちゃん等々、なにわの食文化を堪能。
- ・高増明副学長や、本学校友のシンガーソングライター・花房真優（2018 年卒業）らによる特別歓迎公演も実施。

【経緯】

- ・本学には下宿生が多数在籍している。これらの学生は「大学の多様性」を支える貴重な人材である。
 - ・充実した機能を備えた寮施設を整備するなど、当該学生を対象にした積極的なサポートを展開してきた。
 - ・さらなるサポート強化および、学生の「大学に対する満足度」向上につながる施策が求められている。
 - ・地方から通う学生の保護者から、わが子の学生生活に関する相談が多数寄せられている。
 - ・上記の背景がある一方で、以前から、関西大学生生活協同組合主催による同種の歓迎会は実施していた。
- 今般、父母の会である「教育後援会」発案のもと、父母の切実な声に応えるべく、オール関大（大学、教育後援会、校友会、生協）としての企画を実施する運びとなった。

【日時】4月4日（水）17：30 ～ 20：00

【場所】千里山キャンパス 100周年記念会館

【内容】応援団による演舞演奏、歓迎挨拶（芝井敬司 学長・池内啓三 理事長ほか）
高増明副学長をはじめとする本学校友・教職員・学生による特別バンド演奏

【主催】関西大学 【共催】関西大学教育後援会、関西大学校友会

【協力】関西大学生生活協同組合



＜当日は大阪名物の文化（たこ焼き、だしまきだし、通天閣など）を巨大パネルにして、フォトスポットとして設置＞

以上

新入生に贈る

100冊



関西大学

www.kansai-u.ac.jp

関西大学学長 KANSAI UNIVERSITY

×

紀伊國屋書店 KINOKUNIYA

×

丸善雄松堂 MARUZEN-YUSHODO



KANSAI UNIVERSITY

学長からのメッセージ

あなたが自らの人生を大切に生きていくために、100冊の本をリストアップしました。入学した今日から、本と向き合う決心を固めてください。あなたがほんものの大学生になるために、役立つことを願って選びました。

2018年4月1日

関西大学学長 芝井敬司



事務局より

このパンフレットは、関西大学学長と大手書店の株式会社紀伊國屋書店様と丸善雄松堂株式会社様が協力して選んだ「お薦めの100冊」を紹介しています。

「若者の活字離れ」が指摘されて久しいですが、大学と書店が青年に向けた「お薦めの100冊」に本格的に取り組むのはこれが初めてです。本の説明は教員と職員が手分けして、新入生に馴染んでいただけるよう、それぞれの思いを限られた字数に込めました。もちろん上級生にもお薦めです。

Index

- 学長推薦20冊 …… P1 - P2
- 紀伊國屋書店推薦40冊 …… P3 - P6
- 丸善雄松堂40冊 …… P6 - P9

学長 推薦20冊



一九八四年

01

著者 ジョージ・オーウェル

出版社 早川書房

市民への監視など全体主義の恐怖を描いた近未来小説。「今の日本」とどう違う？



夜明けの雷鳴
一医師 高松凌雲

02

著者 吉村 昭

出版社 文藝春秋

幕末の混乱時に敵味方の別なく治療した医師の活躍。人間って、ここまで出来る！



歲月〈上・下〉

03

著者 司馬 遼太郎

出版社 講談社

教科書などでチラッとみた江藤新平。幕末から明治を駆け抜けた「偉大な脇役」。



漆の実のみのる国
〈上・下〉

04

著者 藤沢 周平

出版社 文藝春秋

今なぜ上杉鷹山に注目？借金まみれの上杉藩を立て直した男の値打ち。



雄気堂々〈上・下〉

05

著者 城山 三郎

出版社 新潮社

幕臣から明治政府の官僚を経て稀代の実業家へ。百年前の起業家のスケール！



高橋是清自伝〈上・下〉

06

著者 高橋 是清

出版社 中央公論新社

昭和初期の金融恐慌などに立ち向かった政治家「ダルマさん」の自伝。



それでも、日本人は
「戦争」を選んだ

07

著者 加藤 陽子

出版社 新潮社

明治以降の日本の戦争を支えた論理や背景を描く。そこから見えるものは。



楽園のキャンバス

08

著者 原田 マハ

出版社 新潮社

幻の名画の真贋判定の奇妙な物語にはまれに、マハの「暗幕のゲルニカ」へ。



クアトロ・ラガッツィ
一天正少年使節と世界帝国〈上・下〉

09

著者 若菜 みどり

出版社 集英社

戦国時代の天正遣欧少年使節を描く。少年がローマで見たものは。



乾山晩愁

10

著者 葉室 麟

出版社 角川書店

戦国～江戸の絵師をめぐる5編。才能とジェラシーが渦巻く妖しげな世界。

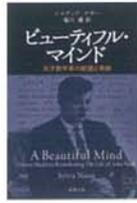


11 天空の舟 —小説・伊尹伝(上・下)

著者 宮城谷 昌光

出版社 文藝春秋

料理人から身を起こした夏王朝の政治家と、古代中国史の滔滔たる流れ。



12 ビューティフル・マインド： 天才数学者の絶望と奇跡

著者 シルヴィア・ナサー

出版社 新潮社

ゲーム理論を先導しノーベル賞に輝いた天才数学者は何に悩んでいたのか。



13 素数の音楽

著者 マーカス デュ・ソートイ

出版社 新潮社

世界一有名な数学者が描く素数と音楽の「世にも奇妙な関係」。数学の苦手なあなたも大丈夫！



14 蒲生邸事件 蒲生邸事件(上・下)

著者 宮部 みゆき

出版社 文藝春秋

主人公は二・二六事件にタイムスリップし歴史の谷間へ。みゆきミステリーはここまでやる。



15 空飛ぶタイヤ(上・下)

著者 池井戸 潤

出版社 講談社

脱輪事故を探る巨大自動車メーカーのリアルを隠しへ進展。大逆転があなたを待つ。

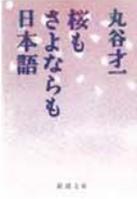


16 蒼き狼 蒼き狼

著者 井上 靖

出版社 新潮社

モンゴル帝国を創ったチンギス・カンの一生涯。反吐の出るような残酷と、奔放なロマン。



17 桜もさよならも日本語

著者 丸谷 オー

出版社 新潮社

野球放送から大学入試問題まで日本語の根本を問う。「させていただく」も怪しい？



18 日本三文オペラ 日本三文オペラ

著者 開高 健

出版社 新潮社

敗戦直後の大阪で兵器や鉄骨を盗みまくった「住民兼泥棒」たちの熱気、狼狽、悲哀。



19 樞ノ木は残った 樞ノ木は残った(上・中・下)

著者 山本 周五郎

出版社 新潮社

仙台藩のお家騒動にみた権力闘争と忠臣の孤高。山本文学の金字塔。



20 オリガ・モリソヴナの 反語法

著者 米原 万里

出版社 集英社

旧ソ連で天才ダンサーを見舞う過酷な運命。姉妹作は「嘘つきアーニヤの真っ赤な真実」。

紀伊國屋書店 KINOKUNIYA 推薦40冊

選書への思い

本を読まなくても、受験勉強はできたかもしれませんが。でも本を読んだら、それも、学生時代にしか読めないような、硬かったり重かったり深かったり難しかったり最初は退屈だったりする本を何冊か読んでみたら、見える景色がすこすこ変わってくるかもしれません。そのほんのすこしの変化は、この先の大学生活や就職活動や卒業後の社会人生活で、どこかあなたを支えてくれるかもしれません。というような期待をこめて40冊を選んでみました。ぜひ手にとってみてください。



01 学問のしくみ事典： あらゆる「学」の歴史とつながりがわかる

著者 日本実業出版社/茂木 健一郎

出版社 日本実業出版社

様々な学問の内容と、時間軸や人物軸での位置づけがざっくりわかる新入生向け事典。



02 勉強の哲学： 来たるべきバカのために

著者 千葉 雅也

出版社 文藝春秋

なぜ人は学ぶのか。先進の哲学者が勉強嫌いの人も薦める「学びの入門書」。



03 アカデミック・スキルズ： 大学生のための知的技法入門

著者 佐藤 望/湯川 武

出版社 慶応義塾大学出版会

新入生向けにレポートの書き方や検索エンジンの選び方などをわかりやすく網羅。



04 弱いつながら： 検索ワードを探す旅

著者 東 浩紀

出版社 幻冬舎

ネットに縛られた自分を解放するには？もうだ旅に出よう！というあなたへのメッセージ。



05 学術書の編集者

著者 橋 宗吾

出版社 慶応義塾大学出版会

学術書に不慣れなあなたに、その面白さと裏側を編集のプロがこっそり教えます。



06 いま世界の哲学者が 考えていること

著者 岡本 裕一郎

出版社 ダイアモンド社

スマホ、人工知能、クローン人間なども素材に、哲学って意外と身近と実感できる入門書。



07 哲学入門

著者 戸山 和久

出版社 筑摩書房

森羅万象をすさまじいスピードで解明する科学は万能か。人間とは何かを考える。



08 中動態の世界： 意志と責任の考古学

著者 國分 功一郎

出版社 医学書院

「する」と「される」以外の不思議な中動態の世界を、古代からの哲学の森で探った。



09 哲学の起源

著者 橋谷 行人

出版社 岩波書店

古代アテネのデモクラシーをひもときながら、気がつく現代の独裁と民主にまで考えが及ぶ。



10 愛するということ

著者 エーリッヒ・フロム/鈴木 晶

出版社 紀伊國屋書店

世界中で半世紀にわたるベストセラー。悩めるあなたにこれを読んで夜も眠れなくなる。





メタ倫理学入門： 道徳のそもそもを考える 11

著者 佐藤 岳詩

出版社 勁草書房

善とか倫理とか、暗黙の前提を疑ってみることもたまには必要。そのナビ役です。



宇宙倫理学入門： 人工知能はスペース・コロニーの 夢を見るか？ 12

著者 稲葉 振一郎

出版社 ナカニシヤ出版

スペースコロニーや火星探査などを「宇宙オタク」に任せてよいのか。22世紀を見据えた作品。

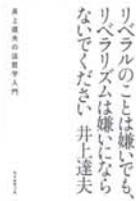


日本の近代とは何であったか： 問題史的考察 23

著者 三谷 太一郎

出版社 岩波書店

政党政治、天皇制など4つの視点による分析は、あなたの生き方にもつながります。



リベラルのことは嫌いでも、 リベラリズムは嫌いにならないでください： 井上達夫の法哲学入門 24

著者 井上 達夫

出版社 毎日新聞出版

多くの書籍ランキングを総なめ。リベラル派の胡散臭さと現政権の危うさを問う。



死してなお踊れ： 一遍上人伝 13

著者 栗原 康

出版社 河出書房新社

鎌倉時代、踊り念仏で全国行脚した上人は無政府主義者だったのか、という発想。



親鸞と日本主義 14

著者 中島 岳志

出版社 新潮社

日本を戦争に導いた思想に、「南無阿弥陀仏」はどう絡んだのか。気鋭学者の分析。



正義論 25

著者 ジョン・ロールズ/川本 隆史

出版社 紀伊國屋書店

正義とは何か。その考え方を現実に合わせて実現できるかどうかを検証。



教養としての経済学： 生き抜く力を培うために 26

著者 一橋大学

出版社 有斐閣

「経済学だって面白くなきゃ」というあなたへ「温泉、腎臓移植、数学」などからその面白さを。



ビッグヒストリー大図鑑： 宇宙と人類138億年の物語 15

著者 ティヴァッド・クリスチャン/
ビッグヒストリー・インスティテュート

出版社 河出書房新社

ビッグバンから現代まで138億年もの歴史をわずか376ページでビジュアルに描く。



サピエンス全史： 文明の構造と人類の幸福(上・下) 16

著者 ユヴァル・ノア・ハラ/柴田 裕之

出版社 河出書房新社

なぜ人類だけが繁栄したのか。その歴史と秘密をむちゃくちゃわかりやすく。



未来の年表： 人口減少日本でこれから起きること 27

著者 河合 雅司

出版社 講談社

「火葬場不足」や「3分の1が空き家」など「悲しい近未来」をあなたがたくましく生きるには。



断片的なものの社会学 28

著者 岸 政彦

出版社 朝日出版社

路上のギタリストや草食系男子など、分析不能の断片から圧倒的なリアリティが。



日本史の内幕： 戦国女性の素顔から幕末・近代の 謎まで 17

著者 磯田 道史

出版社 中央公論新社

テレビにも出る若き歴史家が「秀吉は秀頼の実父か」など歴史の裏側でささやきます。



日中戦争全史(上・下) 18

著者 笠原 十九司

出版社 高文研

平和時でも「戦争の予兆はある」ことや「出来れば知りたくない」戦争のリアル。



子どもたちの階級闘争： ブローケン・プリテンの無料託児所から 29

著者 プレイティみかこ

出版社 みすず書房

「ゆりかごから墓場まで」の英国で見た「福祉社会の地獄」。鋭い視線とたまにユーモア。



科学の発見 30

著者 スティーヴン・ワインバーグ/
赤根 洋子

出版社 文藝春秋

中世の偉い哲学者らへ、ノーベル物理学賞の著者が批判しながら科学史を編む。



60年代のリアル 19

著者 佐藤 信

出版社 ミネルヴァ書房

あなたが生まれる30年ほど前のオリンピックってどんなかな。



うしろめたさの人類学 20

著者 松村 圭一郎

出版社 ミシマ社

「うしろめたさ」を逆手に取って今の日本を変える魅力的な提案と模索。



ハンセン病療養所を生きる： 隔離壁を岩に 31

著者 有園 真代

出版社 世界思想社

差別や難民など幅広い社会問題取材した著者が描いた療養所の人たちの生き方。



科学技術をよく考える： クリティカルシンキング練習帳 32

著者 伊勢田 哲治/戸田山 和久

出版社 名古屋大学出版会

地震予知や遺伝子操作などの先端技術について異なる意見から自分で考える練習帳。



大人のための社会科： 未来を語るために 21

著者 井手 英策/宇野 重規

出版社 有斐閣

「私」「GDP」「多数決」など12のキーワードでわかりやすく説明した「今の日本」。



全体主義の起原 (1・2・3) 22

著者 ハンナ・アーレント/
大久保 和郎/大島 通義

出版社 みすず書房

ナチスなどの体制の由来を徹底的に分析。出版と同時に全世界をアッとさせた名著。



利己的な遺伝子 33

著者 リチャード・ドーキンス/日高 敏隆

出版社 紀伊國屋書店

親子の対立や浮気まで、遺伝子の利己性から解き明かす世界的ベストセラー。



動物の賢さがわかるほど 人間は賢いのか 34

著者 フランス・ドゥ・ヴァール/松沢 哲郎

出版社 紀伊國屋書店

進化認知学というビックリ箱を開いたらタコや猿などの意外な素顔が山ほど出てきた。



バツタを倒しにアフリカへ 35

著者 前野フルド浩太郎

出版社 光文社

アフリカの莫大な農業被害の防止を請け負った若き「バツタ博士」の冒険記録。



こわいもの知らずの病理学講義 36

著者 仲野 徹

出版社 晶文社

大切な健康を守るために阪大医学部教授が書いた「笑って読める病気の本」。



5人のプロに聞いた「一生モノの学ぶ技術」 We Asked 5 Professionals! Techniques to Support Working and Learning throughout Your Life 05

著者 阿部 正浩、前川 孝雄 編

出版社 有斐閣

人に会い話を聞いて考えをまとめて書く。仕事にも学びにも役立つ6つのコツをプロが指南。



大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法、改訂第2版 06

著者 松本 茂/河野 哲也

出版社 玉川大学出版部

ゼーンぶんんとなくやっちゃダメ。人を説得するにはスキルと工夫が必要。



原発の教科書 37

著者 津田 大介/小嶋 裕一

出版社 新曜社

東日本大震災でわかった原発の危うさ。その安全性など様々な視点で解説。



文学問題(F+f)+ 38

著者 山本 貴光

出版社 幻戯書房

難解とされる夏目漱石の「文学論」をゲーム作家でもある著者が解き明かす。



AI (人工知能)まるわかり 07

著者 古明地 正俊/長谷 佳明

出版社 日本経済新聞出版社

AIで世の中変わるってホンマかいな、と思ってるでしょ? どうも違うらしい。



死ぬほど読書 08

著者 丹羽 宇一郎

出版社 幻冬舎

いやいや、自分にはこんな読み方は出来ない、と感じることがあなたの新たな読書始め。



文学とは何か：現代批評理論への招待(上・下) 39

著者 テリ・イーグルトン/大橋 洋一

出版社 岩波書店

英国の文芸批評家である著者が19世紀以降の欧米の文芸批評の流れなどを解説。



マーシャの日記：ホロコーストを生きのびた少女 40

著者 マーシャ・ロリニカイト/清水 陽子

出版社 新日本出版社

アンネと同世代の少女によるナチスの強制収容所での過酷な体験の記録。



LIFE SHIFT: 100年時代の人生戦略 09

著者 リンダ・グラットン/アンドリュー・スコット

出版社 東洋経済新報社

20歳前後のあなたただから「人生百歳以上」の社会を、著者とは別の視点で読み取れます。



リーダーを目指す人の心得 10

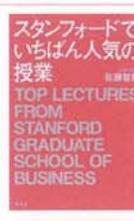
著者 コリン・パウエル/トニー・コルツ

出版社 飛鳥新社

その気がなくてもリーダーになる日は突然やってくる。その日のための1冊。

丸善雄松堂
MARUZEN-YUSHODO
推薦40冊

選書への思い
高校生から大学生へ、希望と不安の両方がかかっているとします。今までテストだけ良ければよい点がとれたかもしれませんがこれからはそうではありません。これからはいろいろなチャレンジが必要です。社会へ羽ばたくまでの4年間、自身の基礎を固めるために役に立つ本をまとめました。普段本を読まない方のために、ベストセラーも含めました。お役に立てれば幸いです。



スタンフォードでいちばん人気の授業 11

著者 佐藤 智恵

出版社 幻冬舎

柔軟な洞察力と心理学や経済学などのポイント、人気教授12人から学べる値打ち。



誰が日本の労働力を支えるのか? 12

著者 寺田 知太/上田 惠陶奈/岸 浩稔/森井 愛子

出版社 東洋経済新報社

少子高齢化の行き着く果て。支えるのはAI、外国人? いや、あなたでしょ。



教養力：心を支え、背骨になる力 01

著者 齋藤 孝

出版社 さくら舎

教養はすぐには役に立たない。けど、じわじわと効いてきて、強く生きていきます。



じぶんの学びのを見つけ方 02

著者 フィルムアート社編集部 編

出版社 フィルムアート社

「学ぶ」ってどういうこと? 学びと生きていくこととの関係をリアルに説明。



大学選びより100倍大切なこと 13

著者 筒井 美紀

出版社 ジャパンマシニスト社

学ぶことに疑問を感じたら手に取って。大人になる「ツボ」満載。

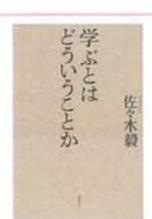


大学新入生ハンドブック：大学生活これだけは知っておきたい! 14

著者 世界思想社編集部 編

出版社 世界思想社

スマートな大学生活を始めるための1冊。高校との違いを明快に説明。



学ぶとはどういうことか 03

著者 佐々木 毅

出版社 講談社

政治学の泰斗が東日本大震災や変革などのキーワードで、学びについて語る。



池上彰の教養のススメ：東京工業大学リベラルアーツセンター篇 04

著者 池上 彰

出版社 日経BP社

大学では実学を学べ、という「常識」を疑え! 教養の底力に気づかされる1冊。



大学生になるってどういうこと?: 学習・生活・キャリア形成 (大学生の学びをつくる) 15

著者 植上 一希/寺崎 里水

出版社 大月書店

授業の受け方から始まって施設の活用、キャリア形成まで。裏技も教えます。



なぜ日本の大学生は、世界でいちばん勉強しないのか? 16

著者 辻太 一朗

出版社 東洋経済新報社

耳の痛い情報ほど役に立つことの典型。その解決策を知りたくないですか。



大学生の品格：プリンストン流の教養24の指針 17

著者 岡部 光明
出版社 日本評論社
米国の名門大で勤務した著者のあなたへのアドバイス集。ひとつでも出来たら安心できそう。



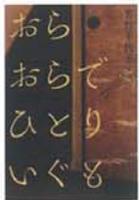
世界は数字でできている：数の「超」活用法 19

著者 野口 悠紀雄
出版社 新潮社
ドキッとさせられるタイトルだが、読めば意外と納得。数学が苦手な人ほどお薦め。



知的文章術：誰も教えてくれない心をつかむ書き方 21

著者 外山 滋比古
出版社 大和書房
「面白くない文章なんて」と言わばかりの「書くツボ」。達人ならではの説得力。



おらおらでひとりいぐも 23

著者 若竹 千佐子
出版社 河出書房新社
芥川賞と文藝賞のダブル受賞。一人で生きていく74歳の主婦を温かい東北弁で紡ぐ。



たゆたえども沈まず 25

著者 原田 マハ
出版社 幻冬舎
パリで天才ゴッホと才気煥発な日本人画商が出会った時、奇妙な運命が回りだした。



蜜蜂と遠雷 27

著者 恩田 陸
出版社 幻冬舎
ピアノコンクールを舞台にした元天才少女、養蜂家の息子らの意外なドラマ。



東大教授が教える独学勉強法 18

著者 柳川 範之
出版社 草思社
高校に行かず進学した筆者のリアルなアドバイス。「よし、出来る」という気にさせる力。



大人のための国語ゼミ 20

著者 野矢 茂樹
出版社 山川出版社
独特のトレーニング法を編み出した筆者が、身近な文章で「わかりやすさ」を演出。



英語の品格 22

著者 ロッシュェル・カップ/大野 和基
出版社 集英社インターナショナル
日本企業に勤務経験もある筆者が米国での暮らしや仕事で役立つ言い回しを説明。



月の満ち欠け 24

著者 佐藤 正午
出版社 岩波書店
人は生まれ変わるのか。少女と3人の男が織りなす数奇な運命。ラストもすさまじい。



少数株主 26

著者 牛島 信
出版社 幻冬舎
こう慢な経営で窮地に立った少数株主の救済に立ち上がった敬院弁護士らの活躍。



銀河鉄道の父 28

著者 門井 慶喜
出版社 講談社
篤実な商売人の父からみた吾沢賢治は天才なのか、普通の若者だったのか。



陸王 29

著者 池井戸 潤
出版社 集英社
テレビ番組でもヒット。骨髄移植が大勝負したランニングシューズ開発の行方。



ホワイトラビット：a night 31

著者 伊坂 幸太郎
出版社 新潮社
仙台で突然起きた人質たてこもり事件。大包囲網の中で意外な進展が。



豆の上で眠る 33

著者 湊 かなえ
出版社 新潮社
2年前に失踪した姉を名乗る不思議な少女。妹の違和感からドラマは始まる。



屍人荘の殺人 35

著者 今村 昌弘
出版社 東京創元社
部活の合宿先で部員の死体が見つかった。連続殺人事件にメスは入るのか。



女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと 37

著者 西原 理恵子
出版社 KADOKAWA
「毎日かあさん」から娘への「女はつらいよ」アドバイス。男子学生必読の書。



リリース 39

著者 古谷田 奈月
出版社 光文社
18歳で「性」を選択できる社会で起きたテロ。ドナン返しの末に見えたのは。



カエルの楽園 30

著者 百田 尚樹
出版社 新潮社
カエルの新天地での「平和の三戒」は絵空事なのか、という意味深な小説。



ルビンの壺が割れた 32

著者 宿野 かほる
出版社 新潮社
帯もあらずしも読むなという覆面作家の、SNSを舞台にしたミステリー。



満願 34

著者 米澤 穂信
出版社 新潮社
殺人を犯した妻の動機は何か、など6つの短編ミステリー。



おもかげ 36

著者 浅田 次郎
出版社 毎日新聞出版
定年の日に倒れた商社マン。失った意識の底で見た奇妙な経験と「幸せ」。



忘れられた巨人 38

著者 カズオ・イシグロ
出版社 早川書房
ブリテン島を舞台にした老夫婦と若者2人らの物語。ノーベル賞作家の傑作。



僕が殺した人と僕を殺した人 40

著者 東山 彰良
出版社 文藝春秋
台北でたくましく生きる3人の少年。もくろんだ殺人の失敗で大人へ脱皮…。